

思春期は「悩む」が多いんです！

「自分を大切にし、相手を思う」

サマースクールにおける性の健康教育

すでに大人になった皆さんも、中学生のころ、体のこと、学校のこと、友だちのこと、異性のこと、将来のことなどで悩み、学校に行きたくなくなったり、親に八つ当たりしてしまったり経験がある人も多いのではないのでしょうか。精神的にも身体的にも、子どもから大人へ変化する小学校高学年から高校生までを、「思春期」といいます。体の発達と心の発達のバランスがうまくとれないために、心身ともに不安定でデリケートな時期なのです。

多くの悩みの中でも、「自分の体が毛深くなったみたいだけどうなっているんだろう・・・」「異性がすぐく気になるけどいいのかな？」など、「体の変化」や「性」に対する悩みは、正しい知識が無いことにより様々な問題につながってきます。

県内の中学・高校生を対象にした性に関する意識調査によると、性交に対する意識として高校生の約8割が「愛情があればよい」「お互い納得すればよい」「避妊・性感染症予

防すればよい」など性交を肯定しています。また、中学生でも6割が「愛情が深まればよい」「好きな人ならよい」「お互い納得すればよい」と肯定的な意識をもっています。一方、人工妊娠中絶は増加し、特に10代の実施率は全国13・0%に比べ栃木県は17・5%（H13年 女子人口千人あたり）とかなり高い数値となっています。

性がカジュアル化しそれに伴い、若い子の間では性感染症が広がり、また、望まぬ妊娠から人工妊娠中絶をして、心身ともに傷ついている子がたくさんいるのです。それは性に関する正しい情報が得られていないまま、性交に望んでしまった結果ではないでしょうか？ 性についての教育はイコール生きるための教育であり大切なことです。早い時期からきちんと教えていく必要があると思います。そして、自分で考え、自分で行動し、その行動に対して責任を持つという「自己決定能力」を高めていく必要があるのです。

■ 性に対する意識調査

（平成12年度栃木県連合学校保健会、栃木県養護教育研究会、栃木県看護協会保健婦職能委員会）

○男女交際への見解

	項目	高校生男子		高校生女子	
		人数	割合	人数	割合
肯定見解	異性といっしょにいることが楽しい	258	59.7	278	53.4
	お互い励ましあえるからよい	120	27.8	186	35.7
	淋しさから開放されるからよい	40	9.3	46	8.8
	合計	418	96.8	510	97.9
否定見解	勉強の妨げになるから避けたい	8	1.9	6	1.2
	親が反対しているからよくない	0	0.0	0	0.0
	性行動がエスカレートするから避けたい	5	1.2	5	1.0
	合計	13	3.1	11	2.2

○性交に対する意識

	項目	中学生男子		中学生女子		高校生男子		高校生女子	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
肯定見解	結婚するつもりなら性交してもよい	29	7.3	24	6.1	—	—	—	—
	愛情が深まれば性交してもよい	53	13.4	89	22.6	141	32.6	186	35.7
	好きな人なら性交してもよい	55	13.9	78	19.8	—	—	—	—
	お互いに納得すれば性交してもよい	92	23.3	51	13.0	142	32.9	136	26.1
	チャンス・機会があれば性交してもよい	14	3.5	2	0.5	47	10.9	6	1.2
	避妊、性感染症予防をすればよい	—	—	—	—	46	10.6	100	19.2
	合計	243	61.5	244	62.1	376	87.0	428	82.2
否定見解	結婚するまでは性交してはいけない	37	9.4	26	6.6	21	4.9	23	4.4
	考えたことがない	93	23.5	111	28.2	34	7.9	70	13.4
	質問の意味がわからない	16	4.1	11	2.8	—	—	—	—
	無回答	6	1.5	1	0.3	—	—	—	—
	合計	152	38.5	149	37.9	55	12.8	93	17.8

※割合は、四捨五入の都合上、合計が100%にならない場合もあります。

■ 人工妊娠中絶の推移

暦年	総数(人)		実施数(女子総人口千当たり)							
			総数		20歳未満		20～24歳以下		25～29歳以下	
	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県
平成7年	343,024	5,988	11.1	12.5	6.2	7.5	16.6	19.7	15.4	19.0
8年	338,867	5,990	10.9	12.4	7.0	9.6	16.8	20.7	14.5	16.8
9年	337,799	5,885	11.0	12.3	7.9	11.4	17.1	19.9	14.7	16.8
10年	333,220	5,793	11.0	12.2	9.1	12.9	17.7	20.6	14.5	15.7
11年	337,288	5,856	11.3	12.5	10.6	15.2	18.8	21.2	14.6	16.3
12年	341,146	6,179	11.7	13.7	12.1	17.4	20.5	25.7	15.4	18.5
13年	341,588	6,223	11.8	13.7	13.0	17.5	20.6	26.4	15.2	18.1

(資料：母体保護統計)

■ 性感染症患者数

性別	暦年	総報告数(件)		特定年齢区分における報告数					
				20歳未満		20～24歳以下		25～29歳以下	
		全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県	全国	栃木県
男	平成13年	40,788	1,164	3,246	131	9,266	260	9,054	272
	平成14年	42,546	1,305	3,466	147	9,315	317	9,171	294
女	平成13年	33,593	478	6,281	118	9,828	136	7,557	117
	平成14年	37,548	577	6,925	128	11,733	169	8,432	106
計	平成13年	74,381	1,642	9,527	249	19,094	396	16,611	389
	平成14年	80,094	1,882	10,391	275	21,048	486	17,603	400

(資料：結核・感染症発生動向調査)



サマースクールで 保健学習

町では、7月26・27日、保健センターで性教育を中心にした保健学習が行われました。対象者は社会福祉協議会主催のサマースクール受講者で、中学生6人、高校生38人の参加がありました。内容はピアカウンセリング、保健師のミニ講話、赤ちゃんふれあい体験と盛りだくさんで、自分自身を見直す良いきっかけになったのではないのでしょうか？

午前中のピアカウンセリングで

は、「仲間相談」といって、性に関して学んだ同年代の子(Peer)が参加者にさまざまな問題提起をしてくれました。自分の夢はなんだろう？まずは自分の将来の計画を改めて考え、そのために知っておかなくてはならない知識を、ピアっ子たちが自分たちの言葉で分かりやすく伝えてくれました。

内容は、性は生きるために必要なもの、男女の違い、妊娠の仕組み、避妊について、性感染症についてなど。また、コンドームについては正しい使い方を実演し、実際にみんなもはるかに身近にとらえ、真剣に学んでいたようです。

午後の赤ちゃんふれあい体験では、町の育児教室やベビーサークルに参加したお母さんと赤ちゃん14組に協力していただき、実際に赤ちゃんを抱っこしたりお母さんへの質問を通して命の大切さを学びました。また、事前学習で家族から自分の生まれたころの話を聞いてきているので、改めて両親の思いに気づいたことと思います。

短い時間でしたが、自分自身で考え、ピアっ子からのメッセージを吸収し、とても有意義な一日だったと思います。

アンケート結果より



- 大人からではなく、自分に近い年の人たちに、性について教えてもらうことはとても新鮮なことだった。(中3女)
- 紙芝居でやっていた、「ロンドンムがないときにごうするか」という話の続きに、「断る」「流される」のほかに「自分の意志で避妊する」という選択肢が加わったと思う。(高3女)
- 雰囲気などに流されたりしないので、ちゃんと意志を持って行動しようと思う。(高3女)
- ロンドンムの使い方など、できない

- ということもできたのでよかった。(高3女)
- 自分の将来設計を立てることができたので、とてもよかった。(中2女)
- みんなの将来の夢が聞けてよかった。避妊の大切さがわかった。(高3男)
- 自分の生理の周期について今までよく考えていなかったけど、レディスメモリーを使って考えていきたいと思う。(高1女)
- 自分にしか分からないことだからしっかりと月経の記録をつけていきたい。(高1女)
- 自分の体は、まだ不安定なことが分かった。(中3女)
- 初めて赤ちゃんを触ってみて、すごくかわいくて、お母さんたちの愛情が沢山詰まっていると気づいた。(高3女)
- 赤ちゃんの重みは、愛情の重みであって母親ってすごいと思った。(高3女)
- お母さんたちは、自分の子供がかわいいから大変な育児を頑張れるんだと思った。(高3女)
- 赤ちゃんは、自分のお母さんを見分けることができるのですごくいいと思った。(高3女)
- 赤ちゃんはすぐに泣いてしまった

- りしたけど、すごくかわいくて保育士になって少しでもお母さんの役に立ちたいと思った。(高1女)
- 避妊器具等をきちんと使用して、望まない妊娠はしないようにしたい。(高3女)
- きちんと異性と付き合っていくたい。(高3男)
- 性に関する知識が増えたので、みんなにも教えてあげたいと思った。(高3女)

思春期を取り巻く環境は、時代とともに変化し性に関する情報もあふれています。周囲の人たちが『今の思春期』を理解し、子どもたちが正しい道を選択できるよう導いていく必要があるのではないのでしょうか。

心配なことがあれば1人で悩まず相談しましょう。

【栃木県看護協会「まちの保健室」】
 ☎028(624)1677又は
 ☎028(624)1446
 相談日：毎週土曜日
 午後2時～午後6時
 相談内容：思春期の悩み全般に関すること。保健師・助産師・看護師が電話相談に応じます。



【思春期相談センター「クローバー」ピアルーム】(109宇都宮店4階)
 ☎028(632)0811
 メールアドレス peerroom1020@rapid.ocn.ne.jp
 相談日：毎週土・日曜日
 午後1時～午後6時
 相談内容：思春期の悩み全般に関すること。ピアカウンセラー、専門の相談員が電話・個別面接・インターネット相談に応じます
 ▼問い合わせ先＝
 健康福祉課 保健衛生係
 ☎9132